



サーバス九州

日本サーバス九州支部会報 No.168 2015年8月11日発行 九州支部長

8月9日、長崎は、被爆70年のメモリアルデーでした。
この日付を正確に答えられる人は年々減少し、長崎でも4割以下という数値だそうで、記憶の風化が心配されています。

長崎の記念式典で平和の誓いを述べられた被爆者の谷口稜暉（たにぐちすみてる）氏は「生きている限り戦争と原爆被害の実相を世界中に語り続ける」（毎日新聞一面に全文掲載）と述べられました。被爆の実相を聞き、伝えていく役目が今、このとき生を受けている者の役目かな、と実感した日でもありました。

会報2015年8月号（168号）をお届けします。
受信されましたらご一報いただくと安心します。どうぞよろしく願いいたします。

掲載している内容は以下の通りです。

- 1 サーバス九州秋例会―雲仙―のご案内
- 2 シリーズ世界一周の旅 ―その9― ヨルダン編（2）―死海―
- 3 サーバストラベリング報告―Pathway Together参加
- 4 サーバス九州からのお知らせとお願い
- 5 サーバス九州現況（2015年8月1日現在）と会員情報

1. サーバス九州秋例会―雲仙―のご案内

前回からお知らせしていますが、今回の例会は長崎で行います。
プログラムのメインは、長崎市内で被爆者のお話をお聞き、アウシュビッツで犠牲になられたコルベ神父が奉職された聖母の騎士の記念館を訪ねます。
その後、雲仙へ移動し、お宿で交流を行います。翌日は普賢岳（ふげんだけ）火砕流の記念館を訪ねる、という内容です。韓国・台湾のサーバスにもご案内をしています。

ご多用でしょうが、万障繰り合わせてご参加いただければ嬉しいです。

期日： 2015年 9月26日(土)～9月27日(日)

日程 I 9月26日(土)

- 1 集合 公共交通利用 12:00 JR長崎駅改札口付近

手荷物はコインロッカーへ
路面電車で原爆資料館へ

自家用車利用 12:30 長崎原爆資料館正面入り口
早く到着された方は資料館見学開始 OK

- 2 資料館見学 12:30～13:30
- 3 被爆者のお話を聞く 13:50～14:50 (於：被爆者の店)
- 4 聖コルベ記念館見学 移動：路面電車＋タクシー 14:50～15:30
見学： 15:40～16:30
- 5 雲仙へ移動： ①長崎駅へ(荷物取り出し等) 16:30～17:00
②専用車で雲仙のホテル青雲荘へ 17:00～18:30

ホテル青雲荘
〒854-0621 長崎県雲仙市小浜町雲仙 500-1
電話：0957-73-3273 FAX 0957-73-2698

- 6 夕食＋交流会 19:00～21:00

日程II 9月27日(日)

- 1 起床・朝食・周辺散策等
- 2 ホテル出発(ホテルバス) 9:00
- 3 深江(道の駅・水なし本陣)雲仙噴火災害地見学(被害家屋等展示)
- 4 諫早(いさはや)に向けて出発 公共バス＋島原鉄道
- 5 諫早駅着 解散予定時間 12:30

費用： 一人 13,000 円 外国からのお客様：一人 12,000 円

含むもの：長崎市内移動費、原爆資料館参観費、被爆者講話謝礼、夕食、朝食、長崎
市内からホテルまでとホテルから雲仙噴火災害記念館まではホテルの送迎
バス利用

含まないもの：島原市内からの交通費、個人的費用、昼食代

締め切り：2015年8月20日

申し込み後の変更にも対応しますので、できるだけ早く意向をお伝えください。見通し
が立ちやすくなりますので助かります。よろしく願いいたします。

申し込み：参加希望者は①～⑤をご都合のいい方法で支部長宛にご連絡ください。

①お名前 ②人数 ③宿泊の有無 ④交通手段 ⑤その他（必要に応じて）
お友達をお誘いいただいても結構です。九州支部以外の方もどうぞ！

特別情報です！

この日(日曜日)は島鉄の一日フリーパスデーで、島原鉄道のバス・電車が1日1000円で乗り放題です。島原を観光されたい方、熊本へ渡りたい方はこのチケットを使って自由に動かされてはいかがでしょう。27日の全体的動きは上記のように考えていますが、各自ご都合のいいプランをお考えいただいても結構です。

島原鉄道は諫早駅⇔島原外港駅間を運行しています。(片道1500円程度の料金です)

2. シリーズ世界一周の旅 —その9— ヨルダン編(2)

4月26日～5月3日 ヨルダン旅行②—死海—

熊本県 T会員

アカバのホテルをチェックアウト後、車で死海に向かう。死海の対岸はイスラエル。ヨルダン側は荒野が多いのに対し、イスラエル側は緑で青々していた。JICAの方によるとイスラエルはヨルダンより植物を育てる技術や費用があるため同じ気候でも街の様子が違うのだと聞いた。アカバの夜、イスラエル側の町の光が赤々とともっていたことを思い出した。国の財政の違いを垣間見ることが出来た。

私たちは死海で泳ぐためにスパなどが入っている施設に向かった。この施設では死海と施設内のプールで泳ぐことが出来た。私たちがプールサイドに向かうと数人の若いアラブ人がプールでアルコールを飲む姿を見た。イスラム教はアルコールが禁止されているため、その光景に驚いたがJICAの方によると隣国のレバノンからの旅行者ではないかと言われていた。レバノンについて調べてみると国民の70%がイスラム教で、30%がキリスト教とのことだった。きっと彼らはキリスト教なのだろう。それにしても、女の子がビール片手にビキニ姿で騒いでいる姿をイスラムの国で見るとは不思議な気がした。

海岸に向かうと死海の泥が用意されていて自由に体に塗ることができた。死海の泥は美容にも良いといわれているが、もちろん塩分が高いので目に入らないように気を配らないといけない。全身に泥を塗ったあと、死海に入って泥を洗い流し、恐る恐る死海に浮かんでみると浮力により浮かぶことが出来た。友人はわざわざこの日のために新聞を買ってきて、死海に浮かびながら新聞を読む姿を写真に収めていた(笑)。

死海を去ったあとはアンマンへ。途中、モーゼで有名なネボ山があるとのことだったが、疲れたので行かなかった(今思えば折角なので行っとけばよかった)。

アンマンでの最後の2日は友人たちと一緒に街歩きをした。街で黒いアラブの衣装を買い、顔を黒い布で覆ってブルーモスクに行くと、普段入場料が必要なところを私だけ「あなたはイスラム教だから入場料は要らない」といわれてタダで入れさせてもらった。モスクの中は広く、本日のお祈りの時間が電光掲示板に示されていた。やはりここでも男性と女性では祈る場所が分けられていた。

モスクを見学した後は、友人の希望で「元パレスチナ・キャンプ」だったという町へ向かう。パレスチナからの移民による町であったが、沢山の建物や学校、マーケットがあり、キャンプだったころの面影はほとんどなく、他の町と変わらない様子だった。町の人々は親切で、いろいろなものを試食させてくれたり、自分の写真を撮れと人懐っこい人々が多かった。

夜にはお世話になったアンマン在住の方たちと韓国焼肉の店に行った。イスラムの国であるヨルダンではもちろん豚肉を食べることは禁じられているが、看板もなくアパートの一室のようなこの店では、こっそり豚肉を食べることが出来るそうだ。久しぶりの韓国料理は美味しかった。

こうやってアンマンの旅行は終了し、次はエジプト、カイロへ向かった。

3. サーバストラベリング報告 —Pathway Together 参加—

2015年7月12日～23日 アルプスを堪能

長崎 O 会員

昨年10月フランスからのお客さんを我が家に迎えました。その方は3年前に参加したヨーロッパパサーバスの中の4カ国（ドイツ・フランス・イタリア・スイス）が毎年回り持ちで開催している Pathway Together というウォーキングの集いでお会いしていた方。今年の Pathway Together はスイスアルプスのサンモリッツの近く、ベルニナ鉄道が走っているところで開催とのこと。

ずっと以前、スイスでたまたま乗った山間を走るベルニナ線の沿線風景がとてもきれいで、もう一度乗車したい、という強い希望をずっともっていましたので、「参加してみたい」、と即座に希望を伝え、要項が発表されたら回して欲しいとお願いしました。

11月、要項が届きました。鉄橋を渡るベルニナ鉄道の列車が目飛び込んできました。ベルニナ鉄道が世界遺産に登録されたこともあって超人気です。「早急に申し込まないといっぱいになる」というアドバイスもあったので、すぐに Y さんと一緒に申し込みました。それでもウェイティングリスト入り。結果のお知らせは3月末ごろだとか。だめだろう、とあきらめていたら、3月末に OK の返事がきて、参加の運びとなりました。

ミーティングの開催期日は7月17日～21日 場所はスイスのベルギューン。プログラムは2つに分かれていて、前半の7月17日、18日、19日はベルギューンのホテルに全員滞在して、近辺の山を日帰りウォーキング。5つのコースが設定され、能力に応じてコースを選べます。後半の20日、21日はトレッキングでリュックを背負って登山し、山小屋泊。これも能力に応じてコースが設定されていましたが、私たちの実力外。前半3日間コースで十分です。

おしゃべりをしながら、心地良い風を感じて歩くのは爽快です。

1日目は「アルプスの少女ハイジ」の世界かな～と思いながら歩きました。（実際のハイジコースは大人気で、すぐにいっぱいになり、ちょっとずれたイージーコースに参加。でも、私としてはそれで十分でした）

2日目は氷河特急やベルニナ急行が走る沿線歩き。谷間にかけて鉄橋のいくつかを下から、横から、上から見ながら大自然とそこに人の手を入れた人間の力を感じながらのウォーキングを楽しみました。

それでも飽き足りず、ミーティングの帰りはベルニナ鉄道の普通列車に乗り、途中下車しながら、沿線歩き。大自然を堪能して、ミラノに帰り着きました。

そうそう、ウォーキング中に鹿児島県の F 会員がステイされていたハイデルブルグの方と出会い

ました。「Sは今、自分の家に居る」、ということでびっくり。すっかりお友達になりました。Sさん、初めてのサーバス旅行でしたが、いいホストに出会われて良かったですね！

話が前後しましたが、私たちの行程は福岡空港からミラノ空港（大韓航空利用）へ。ミラノでホテル1泊。翌日、ミラノ・ガリバルディ駅からTGVでフランスのシャンベリーへ。ここでサーバス2泊。ここからトリノへ移動しサーバス2泊。トリノからミラノ、ティラノを経由してベルニナ急行でベルギューンへ。ここで合宿3泊。帰りはまた同じ路線をミラノに戻り、友人宅に2泊して福岡空港へ。

最初に訪問したのはフランスのシャンベリー。グルノーブルオリンピックが開催された場所の近くです。我が家を訪問し、今回の旅をサポートしてくださったHさん宅を訪問。山の中腹にある古い農家を買ってリフォームされた眺望満点・エアコン不要のすてきな「夏の家」です。麓の村々が一望の下に見渡せます。時は7月13日、パリ祭前日で、各市、各村がお祝いの花火をあげます。ちょっと遠目ではあるのですが、数カ所の村からあがる打ち上げ花火をいちどきに見れるという感動を味わいました。

ここで2泊させていただき、次はトリノへ移動。Hさんたちも一緒です。トリノも冬のオリンピックが行われたところ、そしてかつて首都だったところ（知らなかった～！）。トリノのホストは歴史大好きなIさん。彼女のガイドで市内を見学。見どころがいっぱいでした。かつてFiat本社があった場所は、今は色んな用途に使われ、その一つにショッピングセンターがあります。そこに立ち寄り、エスプレッソメーカーを購入。Hさんのところで淹れていただいていたエスプレッソがとってもおいしくて、つい器具とイタリアンコーヒを買ってしまいました。荷物になるというのに～。日本でも買えるかもしれないのに～（笑）。

トリノの街を歩いていると typical Italian と説明される建造物、料理、家の構造が次々に出てきます。ヨーロッパはどこも一緒かと思ってた～。の我が思考を修正。そうだよ。日本と韓国、日本と中国、似ているところはたくさんあるけど、ちがいはたくさんだよ。と納得。ここトリノで2泊し、その後、スイスアルプスでのミーティングに参加したのでした。

今回の旅で、憧れだったフランスアルプス、イタリアアルプス、スイスアルプスを近くに感じることができて大満足～。今回もまた"サーバスならでは"の旅ができた嬉しく思っています。

4. サーバス九州からのお知らせとお願い

1 モンゴル教育支援

日本サーバスがサーバス近畿の提案を受けて実施したモンゴル障害児教育支援の報告が届いています。後日みなさまにその報告書をファイル添付で送信いたします。

（本当はずいぶん前に届いていたのですが、6月初めから緒方が個人的用事で在宅していないことが多く、PCが使えなかったために仕事が滞っていました。すみません。）

2 トラベリング報告・受け入れ報告

お互いの体験を交流することがお互いの学びになりますし、世界を広げていってくださると思っています。気楽に内容をお知らせください。受け入れ報告もぜひ、お願いいたします！

5. サーバス九州現況(2015年8月10日現在)と会員情報

新入会者紹介：

お二人の方が入会してくださいました。

お一人は、福岡市の N.E さん。Na さんのご紹介です。

もうお一人は長崎市の A.A. さん。ずっと以前会員だったそうです。お子さんが大きくなられたのを機会に再入会してくださいました。

ありがとうございます。お二人のご活躍を期待しています。

九州支部会員数 59 家族

<内訳：福岡 15、佐賀 4、長崎 10、熊本 6、大分 14、宮崎 9、鹿児島 1>